



2023年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月13日

上場会社名 株式会社ワッツ 上場取引所 東
 コード番号 2735 URL <https://www.watts-jp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 史生
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 森 秀人 TEL 06-4792-3236
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第1四半期の連結業績（2022年9月1日～2022年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	14,699	7.1	62	△77.3	67	△77.8	215	35.9
2022年8月期第1四半期	13,726	8.1	277	△43.6	305	△35.1	158	△69.9

(注) 包括利益 2023年8月期第1四半期 221百万円 (73.9%) 2022年8月期第1四半期 127百万円 (△74.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	15.88	—
2022年8月期第1四半期	11.83	—

(注) 2022年8月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年8月期第1四半期連結会計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第1四半期	26,377	11,951	45.3
2022年8月期	25,600	11,931	46.6

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 11,945百万円 2022年8月期 11,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2023年8月期	—				
2023年8月期（予想）		0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	29,630	3.9	380	△40.4	340	△49.9	220	△39.1	16.21
通期	60,500	3.7	920	△7.9	850	△26.0	530	△32.2	39.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
除外 1社 （社名）株式会社音通エフ・リテール

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期1Q	13,898,800株	2022年8月期	13,898,800株
② 期末自己株式数	2023年8月期1Q	323,887株	2022年8月期	323,487株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期1Q	13,575,309株	2022年8月期1Q	13,397,926株

（注）役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2023年8月期1Q 一株、2022年8月期1Q 60,000株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの第8波到来との観測はありながらも行動制限が課されず、全国旅行支援等の政策等の効果もあり個人消費が上向いた一方で、円安と原材料・資源価格の高騰の影響が、消費者物価の上昇という形になって表れており、消費マインドが完全に回復するには至りませんでした。ただ、水際対策の大幅緩和や安い日本円を背景に訪日外国客数が大幅に伸び、今後のインバウンド需要の高まりも想定される展開となりました。

このような環境のもと、100円ショップ「Watts (ワッツ)」「Watts with (ワッツ ウィズ)」「meets. (ミーツ)」「silk (シルク)」等を展開する当社グループは、収益源の多角化を図るべく、国内100円ショップ事業だけではなく、ファッション雑貨店やディスカウントショップの運営等の国内その他事業、並びに海外事業にも取り組んでおります。

国内100円ショップ事業につきましては、「ワッツオンラインストア」に「Buona Vita (ブオーナ・ビーター)」「Tokino:ne (ときのね)」の商品の他、オンラインショップ限定商品も導入し、掲載商品数は約1万9千アイテム以上と大幅に拡充いたしました。

また、精算業務の効率化による生産性向上等を目的にキャッシュレス専用のセルフPOSレジ導入を進めるとともに、既存店舗のブラッシュアップを図るため、ハンドメイド関連コーナーの導入やリニューアルを順次行っております。

出店状況につきましては、通期計画の236店舗に対して66店舗の出店を行いました。一方で不採算店舗の整理や母店閉鎖等による退店が24店舗（うちFC1店舗）あり、当第1四半期連結会計期間末店舗数は、直営が1,661店舗（43店舗純増）、FCその他が22店舗（1店舗減）の計1,683店舗となりました。また、Wattsブランド店舗である「Watts」「Watts with」については、全体の約6割の1,103店舗（74店舗純増）となりました。

国内その他事業につきましては、心地よい生活を提案する雑貨店「Buona Vita」は15店舗（8店舗減）となりました。店舗数減少の主な要因は、2022年9月1日付で100円ショップを営む(株)ワッツ東日本販売が「Buona Vita」を営む(株)ワッツ・コネクションを吸収合併したため、当社100円ショップ内に来店していた「Buona Vita」の委託販売型店舗6店舗を店舗数から除外したことによるものです。

事業間でのシナジー強化や当社100円ショップにおしゃれ感の補完を目的とした、当社100円ショップ内へのコーナー展開を継続してまいります。

時間をテーマにしたおうち雑貨店「Tokino:ne」は2店舗（増減なし）、生鮮スーパーとのコラボである「バリュー100」は1店舗（増減なし）、ディスカウントショップ「リアル」は5店舗（1店舗減）となっております。

海外事業につきましては、東南アジアを中心とした均一ショップ「KOMONOYA (こものや)」は、タイで35店舗（2店舗減）、ペルーで15店舗（1店舗増）となりました。中国での均一ショップ「小物家園 (こものかえん)」は、4店舗（増減なし）となっており、自社屋号の「KOMONOYA」「小物家園」の店舗数は54店舗（1店舗純減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,699百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

仕入原価の高騰、食品売上及び復調の兆しが見える海外卸売の構成比が上昇したこと等により、売上総利益率は予想を下回る結果となりました。また、比較的大型な店舗の出店、改装が多かったことや、光熱費の増加等により、営業利益は62百万円（同77.3%減）、経常利益は67百万円（同77.8%減）となりました。

一方で、当社連結子会社間の組織再編に伴い法人税等調整額（益）を計上したことを主因として、親会社株主に帰属する四半期純利益は215百万円（同35.9%増）となりました。

なお、当社グループの事業は、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は19,044百万円となり、前連結会計年度末に比べて483百万円増加いたしました。これは商品及び製品が401百万円、現金及び預金が101百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は7,332百万円となり、前連結会計年度末に比べて293百万円増加いたしました。これは繰延税金資産が187百万円、工具、器具及び備品が98百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は26,377百万円となり、前連結会計年度末に比べて776百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は10,638百万円となり、前連結会計年度末に比べて706百万円増加いたしました。これは支払手形及び買掛金が388百万円、電子記録債務が171百万円、短期借入金が100百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は3,787百万円となり、前連結会計年度末に比べて50百万円増加いたしました。これは長期借入金が31百万円、資産除去債務が22百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は14,425百万円となり、前連結会計年度末に比べて756百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は11,951百万円となり、前連結会計年度末に比べて20百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が11百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は45.3%（前連結会計年度末は46.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年10月11日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,687,848	6,789,520
受取手形及び売掛金	2,687,168	2,668,188
商品及び製品	8,734,082	9,135,586
原材料及び貯蔵品	25,847	24,587
未収消費税等	22,876	23,797
その他	431,169	430,108
貸倒引当金	△27,599	△26,978
流動資産合計	18,561,392	19,044,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,008,560	4,078,509
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,951,551	△2,971,332
建物及び構築物(純額)	1,057,009	1,107,177
車両運搬具	32,337	34,521
減価償却累計額及び減損損失累計額	△26,989	△28,516
車両運搬具(純額)	5,348	6,004
工具、器具及び備品	4,882,184	5,028,942
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,061,385	△4,109,425
工具、器具及び備品(純額)	820,798	919,517
土地	257,800	257,800
リース資産	111,042	111,042
減価償却累計額及び減損損失累計額	△101,363	△102,289
リース資産(純額)	9,678	8,752
建設仮勘定	5,000	—
有形固定資産合計	2,155,635	2,299,252
無形固定資産		
のれん	538,691	505,710
その他	567,785	548,239
無形固定資産合計	1,106,477	1,053,949
投資その他の資産		
投資有価証券	350,185	335,041
繰延税金資産	523,698	711,166
差入保証金	2,765,694	2,794,815
その他	144,709	145,664
貸倒引当金	△7,238	△7,190
投資その他の資産合計	3,777,048	3,979,497
固定資産合計	7,039,161	7,332,700
資産合計	25,600,554	26,377,510

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,943,822	4,332,237
電子記録債務	3,801,090	3,972,155
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	694,163	747,136
未払法人税等	124,876	32,596
未払消費税等	170,774	155,822
賞与引当金	126,657	21,624
その他	1,071,372	1,277,242
流動負債合計	9,932,757	10,638,815
固定負債		
長期借入金	2,311,910	2,343,440
退職給付に係る負債	412,913	423,122
役員退職慰労引当金	34,295	35,170
資産除去債務	646,815	669,719
その他	330,844	315,607
固定負債合計	3,736,777	3,787,059
負債合計	13,669,535	14,425,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	1,348,550	1,348,550
利益剰余金	10,214,752	10,226,637
自己株式	△133,386	△133,386
株主資本合計	11,870,213	11,882,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,962	4,387
為替換算調整勘定	51,854	58,886
その他の包括利益累計額合計	56,816	63,273
新株予約権	3,989	6,264
純資産合計	11,931,019	11,951,635
負債純資産合計	25,600,554	26,377,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
売上高	13,726,285	14,699,966
売上原価	8,423,062	9,174,402
売上総利益	5,303,222	5,525,564
販売費及び一般管理費	5,026,165	5,462,653
営業利益	277,057	62,910
営業外収益		
受取利息	544	1,126
為替差益	20,721	4,427
受取ロイヤリティー	512	1,266
受取補償金	3,483	15,886
補助金収入	12,023	84
その他	3,903	3,733
営業外収益合計	41,188	26,524
営業外費用		
支払利息	2,184	2,912
退店違約金	—	5,678
持分法による投資損失	10,149	10,455
その他	504	2,629
営業外費用合計	12,839	21,676
経常利益	305,406	67,759
特別損失		
固定資産除却損	164	3,988
減損損失	12,517	15,033
特別損失合計	12,682	19,022
税金等調整前四半期純利益	292,724	48,736
法人税、住民税及び事業税	57,551	27,561
法人税等調整額	76,615	△194,339
法人税等合計	134,166	△166,777
四半期純利益	158,557	215,513
親会社株主に帰属する四半期純利益	158,557	215,513

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	158,557	215,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,151	△575
為替換算調整勘定	△15,932	7,267
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,852	△234
その他の包括利益合計	△30,935	6,457
四半期包括利益	127,621	221,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,621	221,971

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。